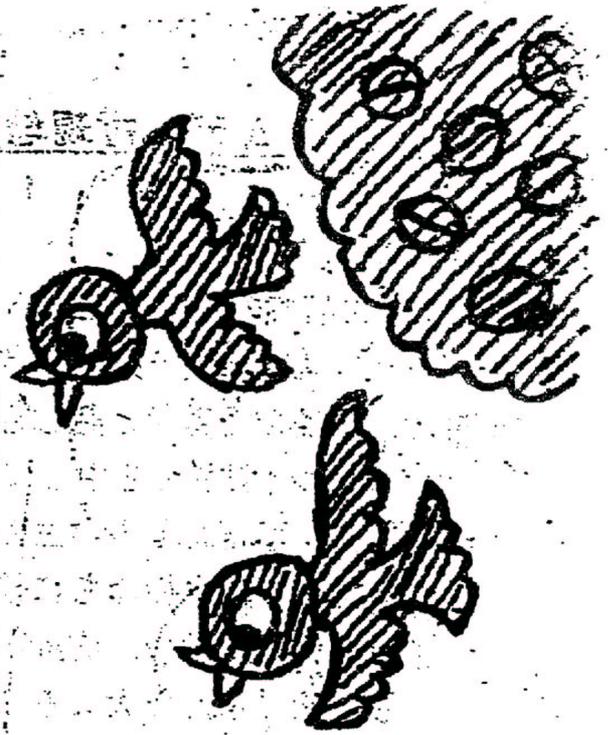


# 知

1995.12.6 No.53

ナグランド

会



## 充実した1ヶ月 研修と交流

ノルジャマンさん

ザフルさん お疲れさま！

11月9日板付空港着、12月8日の出発まで  
いい研修と交流ができました。日本人の誠実さ  
やさしさ、女性のかしこさなど感じて下さったよう  
でした。わたしたちもカラムディ村へ行くと  
バングラデシユの人たちのよさをいつも感じて  
帰ってきます。

こうして

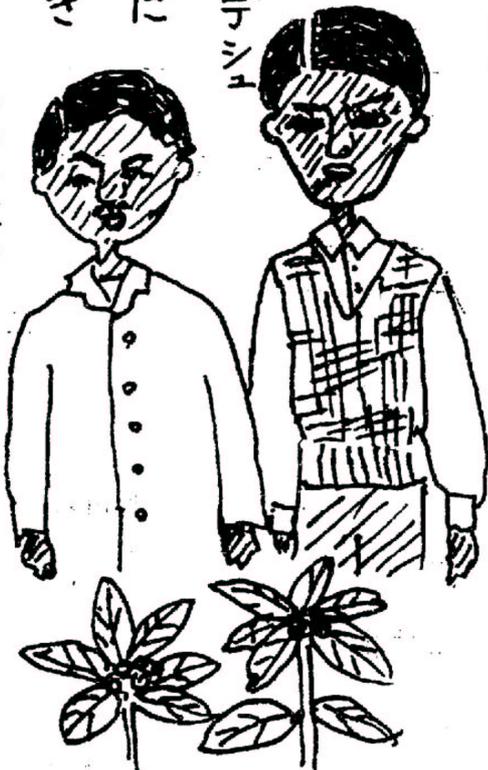
日本と

バングラデシユ

はともに

成長でき

るのでしよう。(大木)



## シオンダニ・シオンスタの保健衛生プログラム

今回ノルジャマン医師が来日し、シオンダニ・シオンスタの保健医療関係のプログラムについて、現地の総合的な考えをお聞きしました。会の現状も見つめながら、ともに協力して、プログラムを進めていきたいと思ひます。

- 目標** ①母子保健 ②子供達の栄養改善 ③予防・治療及びリハビリなど  
④家庭内でプライマリ・ケア

**背景** 貧困、文盲、教育を受けられないなどの文化的、社会—経済的状況はバングラデシュの、特に農村部の人々の現状です。カラムディ村は僻地で、清潔な環境や安全な水がなく、また教育を受けた医師もいなければ、病院もありません。無知、文盲、及び医療施設がないために、特に妊婦や子供達の死亡率や罹病率は非常に高く、この状況を見て、シオンダニ・シオンスタは、母子保健を中心とした病院建設の必要性を痛感したのです。

**具体的には** 保健医療関連のプログラムは、

A)保健衛生の推進のための活動と、B)治療面の活動に分けられます。

A) 保健衛生推進活動：この活動は特に、健康な生活に対する意欲と知識を啓蒙するために、フィールドワークに重点をおきます。

- (a)母乳の普及や家族計画・予防接種などについてのコミュニティでの健康教育
- (b)5才以下の乳幼児の調査と健康管理
- (c)スタッフに対する教育 その他

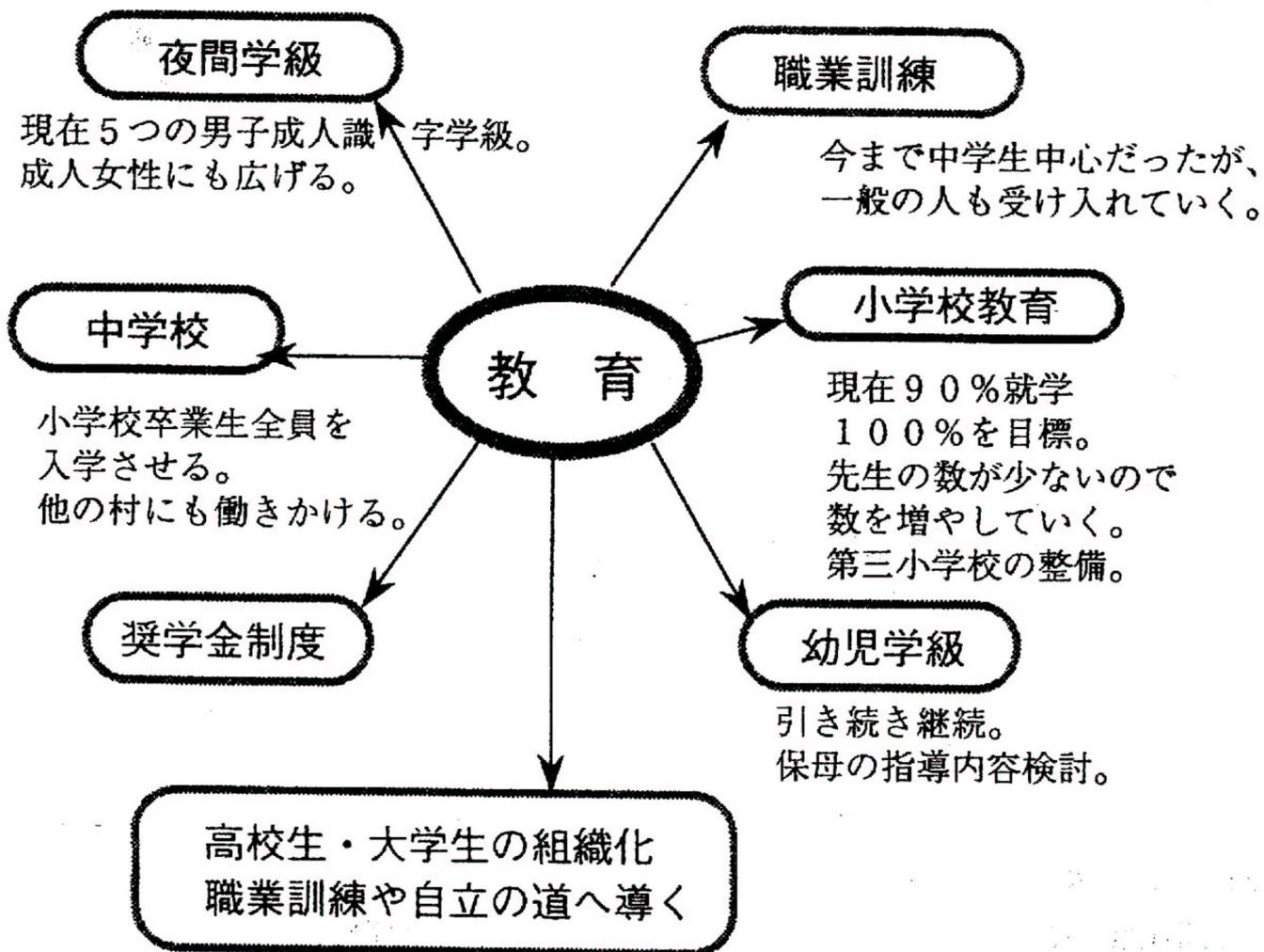
B) 治療面の活動

完全な治療、リハビリ医療を将来行うために、検査診断設備、及び緊急時の搬送システムなどを完備した病院の建設をめざします。これらには以下のものを含む予定です。

24時間の救急医療サービス体制・外来及び入院部門の整備・薬局の完備・給食施設・医師、看護婦をはじめとするスタッフの充足など

以上のような総合的な計画の元に、プログラムの年次計画をたて、少しずつ着実に実行していきたいと考えています。

# カラムディ村の教育活動計画



これらの活動をモニターするために、各機関の代表が定期的に集まり、  
(月に一度) 問題点と対策を話し合う。

## 長期的計画としては・・・

- (1) 教員の質向上のために、小規模のモデル小学校を作る。  
給与の半分は生徒月謝から、半分はションダニから。
- (2) カラムディ村や周辺の中学卒業生が増加。  
将来、農業高校を作る。

## 日本で学んだこと、ぜひ実現したい

ザフォル（シヨンダニ・シヨンスタ事務局長）

日本に来てもうそろそろ一カ月になります。来日当初と比べて、寒さもますます厳しくなっています。寒さに弱い私は、毎日寒さと闘いながら、幼稚園、小学校、中学校や高等学校を見て回っています。日本とバングラデシュの学校状況はあまりに大きなギャップがあり、日本で学んだことがどれくらい実現できるか、かえって心配です。日本の学校を見て、二つのことがとくに目につきました。一つは、最新技術を学校教育に導入し、子供たちの科学知識を促進させていることです。市内のある中学校では、43人の生徒のために51台のコンピュータがありました。また高校生はコンピュータに音楽を入れたり、グラフィック・デザインをしたりしていました。バングラデシュの大学でもこのようなことは考えられません。もう一つは、伝統的な芸に価値をおき、それをそのまま次の世代に伝達していることです。柔道、剣道、空手などです。バングラデシュにもたくさんの伝統的な芸がありますが、それらを忘れ、西洋のお金のかかるスポーツに目を向けています。私は帰国して、学校教育の中にお金をかけなくても、十分に楽しめるスポーツを導入しようと思います。

両親は子供の教育に非常に熱心、先生と生徒の関係が親しい、クラブ活動、清潔さ、充実した図書館などが子供の成長に非常に役立っているのではないかと思います。私は日本で学んだことをできるだけ現地の状況にあわせて、ぜひ実現の方向へ進みたいと思っています。

日本に滞在中、たくさんの人のお世話になりました。ありがとうございます。またバングラデシュで皆さんとお会いできることを、楽しみに待っています。

## 母子保健のモデルを作りたい

ルジャマン（カラムディ村母子保健センター医師）

「バングラデシュと手をつなぐ会」の招きで、1995年11月9日に日本にやってきました。訪日の目的は日本の医療システム及び医師、看護婦—患者の関係を視察することです。さらに日本から寄贈された医療器械—超音波診断装置、心電計などの使い方を学びたいと思います。これらの目的のために、私は川浪病院をはじめとするいくつかの医療機関を訪問し、多くのことを学びました。

器械の使い方ばかりでなく、医師や看護婦が患者に対して親切でいてほしいであるこ

とを学ぶことができました。看護婦は患者さんの髪を切ったり、体を洗ったりしていました。どこの施設でも私に対して親切で友好的でした。また、町の空気がたいへんきれいで、ダツカなどから想像もできません。家族同士がたいへん親密で、お互いの関係が平等のように見えました。また、木の床や、紙のドア（ふすま）、刺身などの日本食は初めての体験でした。

バングラデシュは発展途上国で、医療システムが有効に働いていません。私の目標は、カラムディ村母子保健センターをバングラデシュでの医療システムの一つのモデルとすることです。そのために、私が日本で学んだことを現地で適用したいと思います。これはきっと役に立つと思います。

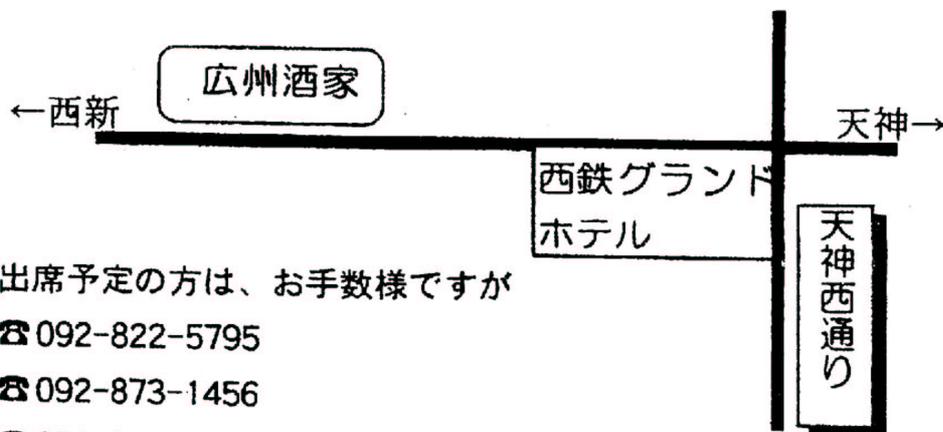
今回の訪日に際して、ご協力、ご支援を下さった方々に、心からお礼申し上げます。日本とバングラデシュの友好関係が続くことを願っています。

## バングラデシュと手をつなぐ会

### 新年会のお知らせ

去年、好評だった忘年会を今年度は下記のように新年会として行いたいと思います。ぜひ皆さんお誘い合わせの上ご参加下さい。

- ・ 日時 : 1996年1月12日(金) 19時より
- ・ 場所 : 広州酒家(天神グランドホテル斜め前)  
福岡市中央区大名2-9-5 ☎092-714-2828
- ・ 会費 女性3,000円、男性3,500円



なおご出席予定の方は、お手数様ですが

大木 ☎092-822-5795

二ノ坂 ☎092-873-1456

今村 ☎092-921-5845 まで年内にご連絡下さい。

# ともに歌い、ハープの音色に酔いました

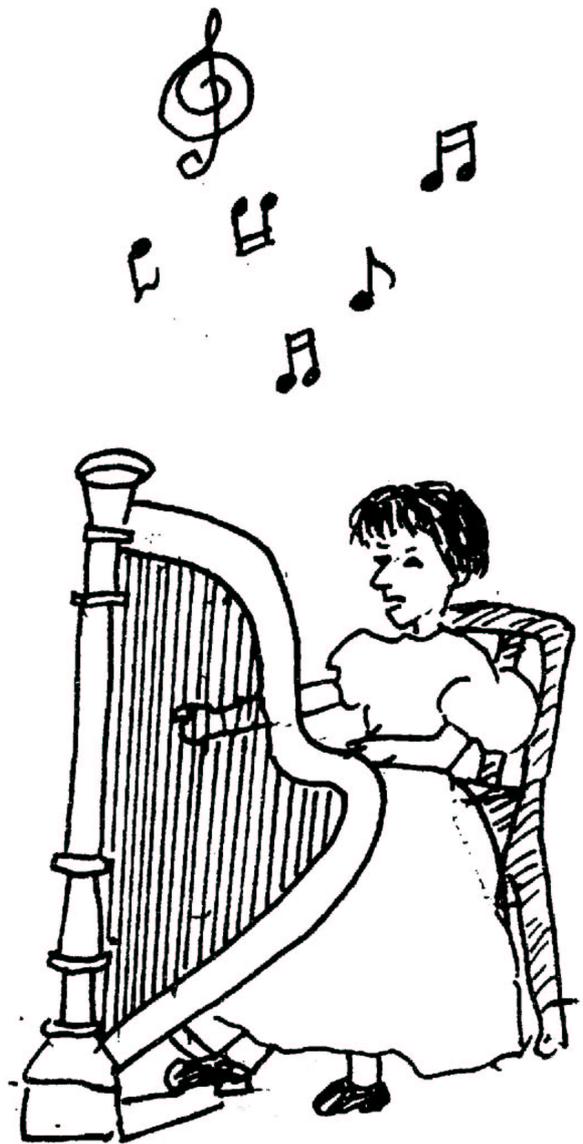
～11. 25チャリティ・コンサート～

11月25日（土）福岡市城南区の末永文化センターホールで「バングラデシュと手をつなぐ・チャリティコンサート '95」が開催されました。寒い中を約200名の方々がご来場くださいました。

第一部はまず、「バングラデシュと手をつなぐ会」の説明と、来日中のノルジャマン医師の紹介を二ノ坂さんが行いました。その後ラブマンさんの通訳で、ノルジャマン医師による「現地からの報告」が行われました。スライドを使っただけの報告で、シヨンダニの活動、現地の様子がよくわかり、初めての方にもバングラデシュのことが理解できたとの意見が聞かれました。

休憩をはさんでの第二部は、池田千鶴子さんの素晴らしいハープ演奏が行われました。日本に限らず、世界中の病院やホスピスを訪問し演奏活動を行っている池田さんは、ご自分の体験を話しながら、そこで感じたことを私たちに教えて下さいました。最後はハープの伴奏で『ふるさと』を全員で合唱し、コンサートを終了しました。多くの人の心の中に池田さんの一言が残ったことでしょう。

「世界にはいろいろな状況の中で生きている人がたくさんいます。しかし”かけがえのない地球”がふるさとであるということは、どの人類にとっても変わらないこと、共通なこと。今生きているということ、自分というものをもう一度見つめ直してください・・・」（高橋かおり）



## 福岡 NGO ネットワーク定例会が行われました。

12月2日土曜日アクロスこくさい広場で福岡 NGO ネットワーク定例会が行われました。今回は APEC のカウンター会議の復命、再来年5月に福岡で開催予定のアジア開発銀行総会のカウンター会議への取り組み、ノルジャマン医師によるカラムディ村における医療活動の報告、ボランティア活動支援法案についての学習等盛りだくさんの内容でした。特にボランティア活動支援法案は、私たちの会にとっても、とても影響がある法案と思われるので、マスコミ報道に注目するだけでなく、法案の中身についての勉強会も必要なようです。ザフォルさんの挨拶の時は、ベンガル語から英語から日本語へといった通訳が行われ、国際色豊かな会合でした。なお次回は1月20日(土)の予定です。どなたでも参加できますので、お誘い合わせの上お越し下さい。時間、会場については、二ノ坂(☎873-1456)または今村(☎921-5845)までお尋ね下さい。

## スタディツアーに行ってきます 12/24~31

12月24日、日本航空でバンコク経由ダッカに入ります。初めての試みですが、実りのあるツアーにしたいと思っています。参加者は、高校生、大学生や教員、それに現地案内人としてラフマン、合わせて8人です。夏休みの現地訪問と違って、村人と交流することが目的です。診療所の宿舎に泊まり、昼間はホームステイをする予定です。

12月31日朝8時に福岡に戻ってきます。(ラフマン)

## バングラデシュと手をつなぐ会の皆さん、 今年も一年間ご苦勞さまでした。

おかげさまで現地訪問、報告会、チャリティコンサート、バザー、訪日交流事業など多くの活動が行われました。来年もどうぞよろしく願います。これからもカラムディ村の人たちといっしょにゆっくりと歩いて行きましょう。(大木 松子)

# ソロプチミスト 賤田から表彰

11月21日 ホテルニューオータニで表彰式がありました。いつもご協力頂いているソロプチミスト福岡東の推せん  
で、賤田から国際協力の表彰を受けたのです。ノルジャマン  
さん、ザラルさんも出席。式のおと食事と一緒にしてなごやかな  
楽しいひとときでした。賤田から50万円、そして福岡東  
のコンサートの純益10万円も頂きました。

ありがとうございました。

(大木)

## 1月の予定

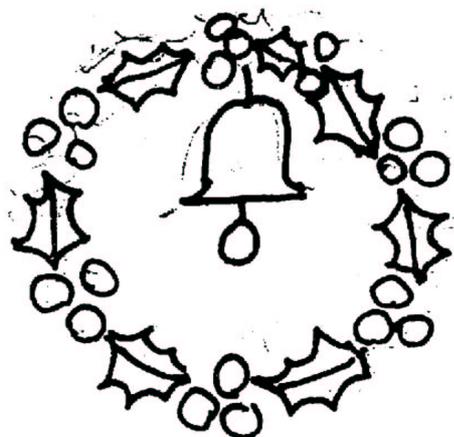
### ○ 運営委員会

1月21日(日) 1.30～ 大木 宅

### ○ 作業日

1月17日(水) 18日(木) 1.30～

なるべくたくさんの方のお手伝いをおねがいます。



### バン格拉デシュと手をつなぐ会

〒814

福岡市早良区西新5-5-13

TEL&FAX 092(822)5795

代表 大木 松子

送金先 郵便為替

01720-2-10442

加入者名 バン格拉デシュと手をつなぐ会